

と既、調停案を拒次同意と求め、次に会
社に同意を乞ふし、両者同意見一致に在り、

田中氏同案との間の譲更、以下譲更の案に
長を配する、同案の内部若しと示して、許解と求
め、午前二時自電に引き附けられた、

十時、午前二時、調停成立の正式調印は、午後二時
半、^{（伊集院）}伊集院會社、理事室に同封収め、

会社代表 伊集院 裕太郎、池上 伸之、林
五氏

争打田、鈴木、土井、多岐尚栄、種操、田氏

調停名例

梅花知子、牛島 ^{（内）} 肇、^{（山）} 部長、以下署名部長

正式調印

田中特高課長、小松伊那署長、多田敬吉部
外書記として、森山、竹内特高課、西吉部長
監席

先、梅花知事、今回、伊那電争打に精は
劣儀、調停化、精神に別之調停案を作成
し、右より両者は互譲、精神より、譲更の調停
案に同意を乞ふと、西吉部長、二方代表より、許解と
求、正式調印あり、十日間の伊集院電争打、
全、解決した、